

橿原市立図書館だより

平成21年12月1日発行
第18号

橿の樹

特集:

わたしのおすすめ
この1冊

おすすめ絵本

目次:

特集1
2、3

特集2
4、5

図書館員の本棚
6

クリスマスの本と
お正月の本 7

お知らせその他
8



わたしのおすすめ この一冊

11月1日～11月29日の期間中、読書の秋の催しとして図書館利用者の皆さんから推薦いただいた図書を、“おすすめコメント”とともに館内展示いたしました。このコーナーでご紹介するのは、その抄録です。

No
Image

「私の東京町歩き」 川本三郎 著
筑摩書房（ウォーク大好き）さん

阿佐ヶ谷、蒲田、高輪、月島、人形町……、普段着の街並みが練達の筆致で描写されていきます。武田花さんの写真がとても良いです。

「関妃暗殺」 角田房子 著 新潮社（草女）さん

日本では広く知られていない近代史について、緻密な取材により執筆されている。「辛い読書」も必要だ。『～過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となる』（ヴァイツゼッカー）

「告白」 町田康 著 中央公論社（葛木モヘア）さん

河内音頭の「河内十人斬り」を題材にした熊太郎の物語。極度に思索的なために世間とずれてゆき、つながることができない熊太郎は、パンキッシュになって追い詰ってゆく。

「晏子」 宮城谷昌光 著 新潮社（教育長）

管理職になってから、組織の中での身の処し方という点について、折々に読み返しては考えるヒントにしてきました。

「妹たちへ 夢をかなえるために、今できること」
日経ウーマン編集 日本経済新聞社（えりぼう）さん

「日経ウーマン」連載の出版本です。婚活、育児と仕事など、悩みながら頑張っているすべての女性への応援歌です。女性が元気になることを、同性として願っています。

「山のむこうは青い海だった」 今江 祥智 著
理論社（yoko）さん

読み進むうちに、いつのまにか、自分も物語の登場人物となっていました。長さんの絵が素晴らしく、物語の最後を締めくくる詩がとても感動的なのです。

「あるひ あひるが あるいていると」
二宮 由紀子 著 理論社（新庄の住人）さん

あるひ、あひるが、あるいていると、あんころもちが、あらわれて……。文章がすべて「あ」から始まっているのです！「あひる」と「あんころもち」が織り成すおはなしは、その後、どんな風に進むのか……。おもしろいですよ。

「河合隼雄の“こころ”教えることは寄り添うこと」
河合 隼雄 著 小学館（市長）

「臨床心理」というと、人間を対象物として捉える“冷たさ”を連想しがちですが、河合先生の著作には人間味が溢れて温かいところが素晴らしいです。

「世界で一番美しい病気」 中島らも 著
角川春樹事務所（恵）さん

恋愛は時に死に至る病でもある。星の光も、ひとの姿も、目に映るものはすべて過去だという。『だから肝心なのは、想う相手をいつでも腕の中に抱きしめていることだ』

「二十歳（はたち）のころ」 立花隆・東京大学教養学部立花ゼミ 新潮社（けんぼう）さん

立花ゼミ生による各界著名人への「プレイバック二十歳」インタビュー集。試行錯誤を重ねながら成長してゆく過程に深く共感します。

「あくたれラルフ」 ジャック・ガントス 石井桃子 訳
福音館書店（利き酒亭主）さん

何と憎らしげな顔をしたネコなんでしょう。そして顔ばかりではなく、その態度ときたら！でも、こんなネコでも飼い主のセイラには抱きしめるほどかわいいネコなんです。

「どんぐりと山ねこ」 宮沢 賢治 原作
徳田 秀雄 絵 講談社 (匿名希望) さん

原作の質朴な味わいとは少し調子の違った、徳田さんが描くシャープな山猫が魅力的です。背丈や形を競い合っつてぶつかり合うどんぐりたちのひしめきが、澄んだ秋空にカチッ、カチッ、と響きます。

「バムとケロのさむいあさ」 島田 ゆか 著
文溪堂 (匿名希望) さん

間合いのあるユニークな絵を眺めていると、思わずニヤリと笑えます。冬の朝、バムとケロは池で凍っているアヒルを発見して大騒ぎ。ノコギリで切り出し、お風呂の湯で救い出したことから、3人の愉快的な生活が始まります。

「森のこえ」 フェルドゥン・オラール著
蝸牛社 (匿名) さん

ユネスコ・アジア文化センター主催の「野間国際絵本原画コンクール」の優秀作品。西洋と東洋が出会うトルコ共和国の作家による、オリエンタルな雰囲気が魅力です。

No
Image

「タッチハンガー」 三砂ちづる 著 マガジンハウス
(名なしの女子)さん

触れてもらえなかった渴望を、著者は「タッチハンガー」と定義します。女性として生きてゆくことを、今流行の“カッター”や“カヤマー”ではなく、もっと自然にゆるやかに見据えている一冊だと思います。

「連戦連敗」 安藤 忠雄 著
東京大学出版会 (元書店員) さん

元ボクサーという経歴を持つ有名建築家の著作。近年は都市景観や都市再生、大学教育にも精力的に参加しています。著者がかつて語った「成功が、ひとを老いさせる」というフレーズを思い出しました。

「在日」 姜 尚中 著 講談社
(サイン本持ってるよ)さん

在日二世である著名政治学者の自伝。過酷な人生を歩んだ在日一世への想いを綴る。複雑なものを抱えながらも、様々な事象を穏やかに語れるのは、幼少時におとな達からそそがれた愛情に依るのかもしれない。

No
Image

「今昔続百鬼・雲」 京極 夏彦 著
講談社文庫 (コニたん)さん

妖怪博士多々良先生と相棒の沼上君が日本各地の妖怪譚をめぐる珍道中。行動派で直情的な博士と、ツッコミ役の沼上君とのでこぼこコンビっぷりがほほ笑ましい。

「三度目で最後の大陸」「停電の夜に」
所収 ジュンパ ラヒリ 著
新潮社 (匿名) さん

No
Image

BRICS諸国の台頭とともに、インド系の活躍が鮮やかです。その下地を作った世代の物語。英国で教育を受け、現在は米国の大学図書館に務めている著者の父がモデルです。本書でピューリツァー賞。

「肉食の思想 ヨーロッパ精神の再発見」
鯖田 豊之 著 中公新書 (草食男子)さん

温暖で湿潤なアジアモンスーン地帯とは異なり、寒冷で乾燥した北欧では、穀作よりも牧草で肥らせた家畜を食糧化する方が効率的だった……。食事のことを「ご飯を食べる」と表現してきた我々米食民族には、驚きに満ちた一冊だ。

「夜明けの森、夕暮れの谷」 湯川 豊 著
マガジンハウス (フライマン) さん

著者は文芸誌の編集者を長年務め、須賀敦子や植村直己とも交友があった。山釣りについてのエッセイだが、巧く釣るための技術論ではなく、かつて出会った風景や人物の回想記。自然が好きな方どうぞ。

「壱坂幻想」 水上勉 著 水上勉全集他収録本多数
(おばあちゃん子) さん

著者の父方の祖母は、十九歳で視力を失いました。若狭の山村で生活を共にした幼少期の回想を短編に仕立てた小説です。官能的な「五番町夕霧楼」や「白蛇抄」とは異なり、脂の落ちた枯淡な風合いがしみじみとさせる好編。

「噛みきれない想い」 鷲田 清一 著
角川学芸出版 (マンボウ) さん

哲学的分析で「噛み切った」時、取り残されるものにこだわったエッセイ。機智に富み哲学っぽい匂いもするのに、クスリと笑えるオチが随所に用意されているのは、さすが関西人です。

No
Image

おすすめ絵本

11月に行った「読書フェスタ&文庫まつり」で配布した絵本リストの抄録です。クリスマスや冬休み、年末年始の楽しみや語らいの一助としてご利用いただければ幸いです。(児童班)



赤ちゃんにおすすめの本

あっ!	中川ひろたか／ぶん 柳原良平／え	金の星社	あっ!と書いたその目線の先には・・・みんなが大好きな乗り物ばかり!次はどんな乗り物が見つかるかな?
おいしいれ	新井洋行／作・絵	借成社	どすん ばさり。おいしいれを開けると、敷布団や枕などが次々に出てきます。できあがった布団で眠るのは誰?
おむれつ ぼん	スマイル・ワークス／作	幻冬舎	お腹がぐうっと鳴ると、ブタのcockさんがやって来て料理をし始めます。果たしてできあがったのは?テンポよく読むのが楽しい絵本!
くれよん ぐるぐる	まつなが あき／作 はやし るい／絵	くもん出版	赤のクレヨンをぐりぐりすると・・・はい いちご! 青、黄色、緑、茶色・・・さて何ができるかな?
こりゃ まてまて	中脇初枝／ぶん 酒井駒子／え	福音館書店	子どもが“こりゃ まてまて”とちょうちやトカゲをつかまえようとする、いつも逃げられてしまいます。最後につかまるのはだーれ?
しゅっしゅぽっぽ	新井洋行／作・絵	教育画劇	しゅっしゅぽっぽー 女の子と汽車は、くまさんの横を通り、いぬさんの横を通り、どんどん進みます。きっききー 線路が壊れています。さあどうしよう・・・。
10ぱんだ	岩合日出子／ぶん 岩合光昭／しゃしん	福音館書店	かわいいパンダが、一匹、二匹と順に出てきます。最後に出てくるのはなんと十匹の赤ちゃんパンダ! 赤ちゃんもお母さんも釘づけになる写真絵本。
だるまさんが	かがくいひろし／作	ブロンズ新社	だ・る・ま・さ・ん・が どてっ とこけたり、ぷしゅ一つとつぶれたり、おもしろくて可愛い大人気の一冊です! シリーズで『だるまさんの』『だるまさんと』もあります。
てんとうむし ぼっ	中川ひろたか／文 奥田高文／写真	ブロンズ新社	写真絵本をもう一冊。ページをめくると、てんとうむしがぼっ!と飛んで、チューリップが ぼっ!と咲きます。子どもが大好きなだんごむしは・・・?
パパも読み聞かせに挑戦してください!			
ペレのあたらしいふく	エルサ・ベスコフ／作・絵	福音館書店	“働く”ということ 自分で人生を切り開いていくのに必要なものとは・・・。

ちいさな芸術家			
いたずらロラン	ネリー・ステファヌ/さく アンドレ・フランソワ/え	福音館書店	「じゃらんぽん」とロランがとなえると、たちまち描いた絵がほんものになって、町はおおさわぎ。
MUSEUM TRIP ミュージアム・トリップ	バーバラ・レーマン/さく	評論社	ぼくは、びじゅつかんで迷路をみつめているうちに、絵の中の迷路にまぎれこんでしまいました。
えのすきなねこさん	にしまさかよこ/作	童心社	ねこさんは絵をかくのがだいすきなのに、どうぶつのみんなは「やくにたたない」とひややかです。
なにをかこうかな	マーグレット&H・A・レイ/作	文化出版局	うさぎのビリーが絵をかきはじめると、みんながつぎつぎと絵をかきたしていきます。ビリーが書きたかったのは・・・。
ウィリーの絵	アンソニー・ブラウン/作・絵	ポプラ社	世界の名画にウィリーがこっそりなかま入り。
ぼくのくれよん	長新太/作	講談社	ぼくのでっかいくれよんで、ぞうさんがかいたでっかいもの。
ダニエルのふしぎな絵	バーバラ・マクリントック/作	ほるぷ出版	ダニエルのかくふしぎな絵。ダニエルはとっても気に入ってるんだけど写真家のおとうさんにはわからないみたい。
へんてこ美術館	織茂恭子/作	福音館書店	へんてこ美術館がへんてこな絵をつれてやってきた。自由な色彩と形のはり絵の絵本。
いしころ	森宏詞/作 京田信太良/絵	文研出版	いしをじーっと見つめてみると、ほらほら何か見えてきた。
やさいでべったん	よしだきみまる/さく	福音館書店	やさいのきれはしでべったんべったんスタンプおせば、あなたもちいさな芸術家のなかま入り。
音楽を楽しもう			
ねずみくんとおんがくかい	なかえよしを/作 上野紀子/絵	ポプラ社	音楽会でトランペットを任されたねずみくん。けど、ちいさいねずみくんにはトランペットがふけません。さあ、どうする・・・。
どうぶつたちのオーケストラ	イーロー・オーリンス/文 ティホル・ゲルゲイ/絵	講談社	今夜はたのしい音楽会。動物たちがご自慢の楽器もって舞台上にあがります。
つきよのおんがくかい	山下洋輔/文 柚木沙弥郎/絵	福音館書店	キャンキャン ぶぶんぶ シャバドビ シャンシャカ・・・。満月の夜、こうちゃんは山で動物たちの演奏に出会います。

図書館員の本棚 (8)

「塚事件」 森 鷗外 著

「森鷗外全集」ほか所収本多数

折に触れて何かと比較されるひと組の作家達があります。漱石と鷗外、あるいは志賀直哉と武者小路実篤、またはドストエフスキーとチェーホフがそうではないでしょうか。「ダブル・ムラカミ」の龍と春樹もそうですね。

森鷗外は、津和野藩の典医の家に生まれ、絵に描いたようにエリート官僚の階段を昇り詰めた作家でした。ライバルとしても比較される町家出身の夏目漱石が、大学教師や文学博士号といった栄達をあっさり捨てて作家生活に専念したことと比較した場合、私などは漱石の方により深く人間味を感じてしまうのですが、そのことと、文豪鷗外の作品への敬意とは、また別の話になります。

維新前後、外国勢力との間で、生麦事件や薩英戦争などの紛争が多発しましたが、「塚事件」もそうした史実のひとつに取材しています。尊王攘夷の嵐の中、命令により戦闘に加わった果てに、引責して自刃しなければならなくなった士卒たちの苦悩が描かれます。戦勝側として臨検したフランス公使達も、目の前で続々と敢行される自刃の凄惨な様子に衝撃を受け、助命を嘆願せざるを得なくなります。

——箕浦は衣服をくつろげ、短刀を逆手に取って、左の脇腹へ深く突き立て、三寸切り下げ、右へ引き廻して、又三寸切り上げた。刃が深く入ったので、創口は廣く開いた。(中略)馬場が刀を抜いて項を一刀切ったが、浅かった。

「馬場君。どうした。静かに遣れ」と、箕浦が叫んだ。

馬場の二の太刀は頸椎を断って、かつと音がした。——

「肉体」に直面した時の、軍医としての職業的な明晰さが、鋭利なメス先を連想させる端的な記述にあらわれています。上の文章から、どの一語を取り除いても、逆にどんな一語を付け加えても、魅力を減じてしまいます。いわば必要十分条件で成立している文章です。無駄のない端正な文体が、武士道に殉じなければならなかった者と、はからずも生存を許された者との対照を、鮮烈に描き出しています。特に最後の、「二の太刀は頸椎を断って、かつと音がした」の一文が、ボディープローのように、じわじわと読後感に効いてきます。

滅びゆく階級であった武士への想いが、深く投影されている作品ではないでしょうか。鷗外が、終わりゆく時代と自らの出自への哀惜を含めて執筆した歴史小説だといえるでしょう。(の)

森 鷗外(もり おうがい)

1862年～1932年、石見国津和野生まれ。本名森林太郎。東京帝国大学医学部卒。陸軍軍医総監、皇室博物館長等を歴任。「舞姫」などのロマン主義の影響を受けた初期作品から、「阿部一族」「洪江抽斎」などの歴史小説まで、著作多数。

No
Image

森 鷗外 著
「阿部一族・舞姫」
新潮文庫 版

「塚事件」を所収しています。

No
Image

森 鷗外 著
「山椒大夫・高瀬舟」
新潮文庫 版

No
Image

森 鷗外 著
「雁」
新潮文庫 版

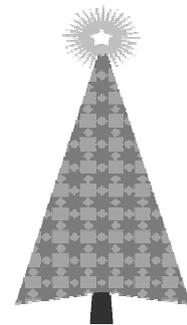
少し早いですが…… **クリスマスの本** と **お正月の本** (児童班&に)

クリスマスにおすすめの本

「ぎんいろのクリスマスツリー」パット・ハッチンス作・絵 渡辺茂雄 訳 (偕成社)
 リスは、クリスマスがくるので、自分の木をいっしょうけんめいかざりました。
 動物たちの愛らしい絵、銀色にかがやくクリスマスツリー、ハッチンスからの子どもたちへのクリスマスのおくりものです。

「クリスマスのおくりもの」 ジョン・バーニンガム作・絵 長田弘 訳 (ほるぷ出版)
 クリスマス・イブの夜。おじいさんサンタとトナカイたちは、世界中の子どもたちにおくりものをとどけて、すっきりたびれてうちに帰ってきました。ところが、袋の中に、まだひとつ、おくりものが残っていたのです！ バーニンガムの優しさあふれる、クリスマスの喜びを感じる絵本です。

「アンナの赤いオーバー」ハリエット・ジョーフェルト作 アニタ・ローベル絵 松川真弓 訳 (評論社)
 アンナは、戦争が終わったら新しいオーバーを買ってもらうことになっていましたが、戦争が終わるとオーバーどころかお店はからっぽ、食べ物もありません。お母さんは、アンナのオーバーを手に入れるためにどうしたのでしょうか。この季節にこそぜひ読んであげてほしい1冊です。



「飛ぶ教室」 エリト・クスター 作 若松宣子 訳 (偕成社)
 ボクサー志望のマツ、貧しくも秀才のマルティン、臆病なウリ、詩人ジョニー、クールなゼバステイアン。生いたちも性格もまったくちがう少年たちはそれぞれに、悩み、悲しみ、そしてあこがれを抱いています。寄宿学校でくり広げられる、涙と笑いがつまったクリスマスの物語です。
 少年たちとの知恵と勇気を描いた児童文学の傑作です。

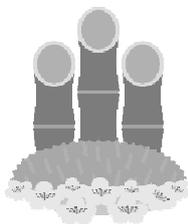


お正月の絵本



「ねずみのすもう」 神沢利子 作 赤羽末吉 絵 (偕成社)
 日本の昔話。太ったねずみとすもうをとって負けてばかりいるじっさまのこのやせねずみ。貧乏なじっさまとぼっさまは、かわいそうでなりません。

「十二支のはじまり」 岩崎京子 作 二俣英五郎 絵 (教育画劇)
 「正月の朝、御殿にくるように・・・。」神様のこんな話から始まるお馴染みのお話。動物達の順番がどの様に決められたのか、猫はどうして入っていないのか、などがわかりやすく丁寧に描かれています。



「ばばばあちゃんのおもちつき」 さとうわきこ 作・絵 (福音館書店)
 気軽に子供が挑戦できるお料理の作り方を紹介するかがくのとも傑作集)ばばばあちゃんシリーズの一冊。雪合戦から帰ってきた子供たちにせがまれて、ばばばあちゃんは、おもちを作ることにしました。臼や杵のかわりに、すりこぎでもち米をベタベタつのが、ばばばあちゃん流。さあ、おもちパーティーのはじまりです。



No
Image

「十二支のはじまり」
 岩崎 京子作
 教育画劇

No
Image

「ばばばあちゃんのおもちつき」 さとうわきこ作
 福音館書店

橿原市立図書館

〒634-0075
橿原市小房町11-5

TEL:
0744-29-2121

FAX:
0744-21-1011

http:
[//www.ksh-lib.jp/](http://www.ksh-lib.jp/)

編集後記

図書館の内と外

図書館を取り巻く情勢が変化している。児童サービスの担当者が、公民館や学童クラブに出かけて読み聞かせなどを行うようになった。健康増進課がおこなう幼児健診と連携してブックスタートを開始した。イベントに図書館コーナーを出展することも増えた。どれも3年前にはなかった新しい取組である。▼利用者の目に映るカウンター業務以外にも、図書館には様々な業務がある。現物としての本とは別に、本に由来する資料データや書誌データの管理がその一例だ。端末を操作すれば、図書の在り処を含む一切の情報が瞬時に把握できるのも、データ管理が健全に、そしてリアルタイムに維持されてはじめて可能となる。影に隠れた部分ではあるが、図書館運営の中核でもある。発注や相互貸借、延滞者への督促等、他にも外部からは見えにくい業務が図書館には数多い。▼従来からの内部業務を堅持しながら、外部の新しい情勢にも適応することが求められている。スクラップ アンド ビルドの活用や、図書館のみにとどまらない大局的な判断も、必要かもしれない。けれども、外での様々な取組や試みも、内での地道で目立たない基盤が存在してこそであることを銘記しなければならない。全体を支えている“骨格”が、外からは見えないのは、人間の身体も図書館業務も同じである。(館長)

お知らせ その他

金尾恵子原画展

当館で手づくり絵本教室の講師を務めていただいている絵本作家金尾恵子先生の原画、スケッチや下書き等の製作資料を展示します。

場所 2F展示コーナー
期間 12月 2日(水)から
1月30日(土)まで



金尾恵子(かなお けいこ)

(右上)、(下)ともに
絵本『花の谷のナキウサギ』より



大阪生まれ。1965年、夕陽丘女子専修職業訓練校意匠図案科卒業。1970年頃から動物や鳥の絵を描き始め、図鑑や幼年雑誌、科学読物などで活躍。自然の中で生きる動物の姿や、動物と人間の関わりを描いてきた。主な著書に「いもり」「いしがめ」「こうら」「らいおん」「きたのもりのシマリスくん」(福音館書店)「みつばちの家族は50000びき」「セキレイの歌」「森のスケーターヤマネ」「大きなはさみのなぞ」(文研出版)「河合雅雄の動物記カワウソウ流氷の旅」(フレーベル館)など多数。

年末の特別貸出について

12月8日(火)～12月26日(土)まで
下記の通りおこないます。

冊数 図書、雑誌についてひとり10冊まで(通常5冊)
貸出期間 4週間(通常2週間)

★ 視聴覚資料については、おひとり2点まで、4週間です。

年末年始の休館について

12月27日(日)から
1月4日(月)まで
休館します。

資料展示① 「季節の絵本 冬」

場所 1F絵本コーナー 期間 12月2日(水)から1月30日(土)まで

資料展示② 「クリスマス絵本」

場所 1F絵本コーナー 期間 展示中 12月26日(土)まで

資料展示③ 「紙でつくれる贈り物の本」

場所 2F展示コーナー 期間 12月2日(水)から1月30日(土)まで

表紙の写真

市立中学校では、2年生になると社会学習の一環として「職場体験」が行われます。図書館でのその1コマ。「働くことは、想像以上に大変なことだと実感しました。けれども、普段知ることができない図書館の中の様子があったりして、楽しかったです」